

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会
令和7年度 第11回ハイブリッド開催定時理事会報告

日 時：令和8年1月8日(木) 13時～16時30分

場 所：JSOS ビル 3F 会議室 5 及び Zoom

出席者：【理事】町田幸男、廣川健太郎、畑中渉、望月啓治、赤尾浩一、小田部拓、
(欠席)石井昭彦、吉田春彦、中橋沙羅、星一男、石田英行、武田豊明、原勇
人(途中退席)下村真一(15:10 から退席)、蛭田伸一、野村善弥、古賀英年、
前田善彦、安井博志、小高令子、栗田季慎子、中島隆之、平田伸也(13:30 か
ら参加)、奥井健吾(14:00 から参加)、藤江理枝、西原斗司男(14:30 から参
加)

理事出席者 25 名 欠席者 1 名

【監事】古屋寿隆、佐久間務

監事出席者 2 名

1. 開会

2. 会長挨拶

あけましておめでとうございます。令和7年度も残り3か月となりました。今年度
末策定予定の中長期計画については、理事の皆さんとコミュニケーションをとりな
がら進めていきたい。また、次年度当初予算の作業が進んでいるが、予算管理は各
委員会委員長の責任で、それを監督するのは担当理事なので、担当理事は自分ごと
としてとらえ、スピード感を持って対応していただきたい。本日もよろしくお願い
します。

3. 会議成立状況報告

理事数 26 名中 23 名出席(通し出席 20 名 途中入・退席 5 名)

監事数 2 名中 2 名出席

(定款第 33 条、定足数=14 名(過半数以上))

4. 議長選出 会長が議長をつとめる(定款第 32 条)

5. 議事録署名人 会長及び監事(定款第 34 条)

6. 議 題

議案第 1 号 前回理事会議事録の承認について

すでに、内容の確認は完了しており以下のとおり承認された。

棄権 0 名 反対 0 名 賛成 23 名

議案第 2 号 事務局テレワーク開始に伴うテレワーク就業規則の変更について
赤尾事務局長が、従来のテレワーク就業規則の一部変更(通信費の費用は JMCA
が負担しないこと)の説明をし、以下のように異議なく承認された。

棄権 0 名 反対 0 名 賛成 23 名

議案第 3 号 令和 8 年度のコーチ等設置事業における要望額調査に係る選考委員会の設置
について
望月専務理事が、JOC のコーチ等設置事業のコーチの選考のために委員会を設
置する必要性を説明し、設置要項に基づき委員会を設置することについて異
議なく承認された。

棄権 0 名 反対 0 名 賛成 23 名

また、選考委員候補 10 名についても提案され、異議なく承認された。

棄権 0 名 反対 0 名 賛成 23 名

更に、1 月 22 日が返答の締切であることから時間がないため当委員会が出た
結論を JOC に返答することを理事会から委任された。

議案第 4 号 令和 8 年度当初予算作成の方向性について

望月専務理事が、各委員会から出された予算見積りの集計結果を説明し、支出
見込みに対し収入(財源)不足となっていることを確認するとともに、今後は
財源内に収めるため委員会毎の予算査定を財務委員会で行うこととし、その
権限を理事会から財務委員会に委任すること、の確認がなされた。

議案第 5 号 主要 SC 競技会開催業務委託契約に関する契約準備行為の実施について

望月専務理事が、これまでの経緯と現在の業務委託は 6 月から翌年 5 月の 1
年契約で既に 2 年以上が経過していることを説明した上で、何らかの形で公
募することを提案し、以下のとおり承認された

棄権 1 名(石田) 反対 0 名 賛成 24 名

議案第 6 号 全国理事長会議への対応について

望月専務理事が、2 月 8 日開催の会議における議題の再確認と、現時点で地方
岳連・協会から出されている質問と対応方針を示した。また、地方岳連・協会
の現状を聞くほか、全日本登山大会に関する意見を聞くことについて採決を
取り、以下のとおり異議なく承認された。

棄権 0 名 反対 0 名 賛成 24 名

議案第 7 号 港区 SC 普及事業(3 月実施予定)について

栗田理事が、次年度から港区と連携して新規に開始する事業に関連するもの
として、本事業を実施する背景と本年度中に実施する意義について説明した。

また、予算 30 万円は、マーケティング委員会が SC 普及関連で新たに獲得した
スポンサー関連資金を活用することを小田部常務理事が説明し、異議なく承
認された。

棄権 0 名 反対 0 名 賛成 25 名

7. 報 告

報告第 1 号 12 月末時点の収支・キャッシュフローの状況及び令和 7 年度収支決算の見通し
について

赤尾事務局長が、12 月末時点のキャッシュフローの説明をした。また、望月
専務理事が、令和 7 年度最新の収支見込を説明し、令和 6 年度に比べ収入が減
っていること（協賛金、交付金減）に対し、人件費、減価償却等の固定費・総
務管理費は急激に減らせないことから、支出が収入を上回る見通しが強まっ
ていることを説明した。

これに関連して、佐久間監事から、今期の財政状況について懸念を示し、少
しも良い方向に向かうよう対策の必要性を述べた。

報告第 2 号 SC コーチの認定について

望月専務理事が、常務理事会で、以下の SC コーチの認定がされたことを報告
した。

■京都会場 コーチ 2 合格 5 名

①宮田 尚文 ②尾川 智子 ③中嶋 渉 ④窪田 修平 ⑤抜井 亮瑛

■神奈川会場 コーチ 2 合格 6 名

①橋本 今史 ②木村 理恵 ③中村 彰太 ④青木 達郎 ⑤大槻 哲也
⑥小澤 保志

■保留者の再検定(コーチ 1) 合格 3 名

①荒谷 俊大(茨城会場) ②川合 健史(神奈川会場) ③鎌田 智子(岩手会
場)

《PF 開催》

■佐賀県山岳・スポーツクライミング連盟 6 名

①怡土 ゆき絵 ②伊原 広茂 ③大河内 芹香 ④中上 太斗 ⑤樋口 結花
⑥前野 紘希

■兵庫県山岳連盟 11 名

①尾崎 竜平 ②石田 幸利 ③水谷 有貴子 ④福田 裕子 ⑤山藤 和輝
⑥宮内 泰英
⑦長谷川 亜沙美 ⑧高力 秀幸 ⑨河面 信也 ⑩西本 陽子 ⑪蘆田 恭卓

報告第 3 号 SKIMO における 1 月～3 月の海外派遣する選手及びコーチについて

小田部常務理事が、配布資料を基に今後の海外派遣計画について報告した。

1月15-16日 ワールドカップ第2戦フランス・クーシュベル
1月25-26日 ワールドカップ第3戦アンドラ
1月31-2月1日 ワールドカップ第4戦スペイン・ボイタウル
3月19-22日 ワールドカップ第6戦イタリア・バロバロテッロ
3月25-29日 ユース世界選手権 フランス

報告第4号 2026年スポーツクライミング日本代表選手及び国際競技大会派遣選手の選考について
畑中副会長が配布資料の内容と速やかにホームページで公表することを報告した。

報告第5号 Letter from UIAA（気候変動対策アンケート）について
望月専務理事が、配布資料を基に説明し、3月末までに登山部が取りまとめて返答することになったことを報告した。

報告第6号 UIAAの3委員会へJMSCAから3名を推薦することについて
望月専務理事が、常務理事会で3名を推薦する方針を決定し、それを踏まえてUIAA委員会で推薦書類の準備を行い、書類がそろったところで改めて理事会で承認を得る流れであることを報告した。

報告第7号 顧問・参与会及び新春懇談会等の実施について
望月専務理事が、現在の準備状況を報告した。

報告第8号 今後の役員派遣ほか渉外等について(1月後半～2月)
1月31日(土)～2月1日(日) ボルダージャパンカップ2026(BJC2026)
2月14日(土)～2月15日(日) スピードジャパンカップ2026(SJC2026)

8. その他

- ・IFSCから各NFにきているガバナンス整備状況のアンケートについて、回答期限(1月8日)が迫っていることから、赤尾事務局長がSC部側へ督促をした。
- ・HPに掲載されている医科学講習会について、令和7年度事業として正式に事業化(予算化)されているかの指摘があったが、黒字化が期待される事業として計画・予算化されていることが確認された。

令和8年1月8日(木)
赤尾浩一